

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

アンケート実施期間: 2023年12月
結果公表日: 2024年3月27日

事業所職員: 3名回答、回答率 100%
保護者様: 15名回答、回答率 83%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・人員体制については、基本人員は満たしているが対応が難しいときには近隣教室と送迎協力を行い、配置ができるように工夫をしている。
- ・環境面については、活動や専門的支援に合わせ、学習スペースやオープンスペースなど場所を分けて過ごせるようにしており、おもちゃの写真や当日のスケジュールを大きく掲示することで視覚的に理解しやすいように工夫をしている。

○業務改善

- ・スタッフの資質向上のために、定期的に研修に参加を行うことで業務の改善に努めている。
- ・利用者の方が入室する前には、全職員でミーティングを行ない、支援の共通認識を持っている。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画の作成時には保護者からの要望を聞いた上でスタッフ間で話し合いを行っている。
- ・送迎終了時間が遅くなってしまうことが多い為、当日の業務の振り返りを毎日行うことは難しいが、必要なことに関しては、引継ぎノートなどの手段を使用して共有をできるようにしている。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校や保護者を交えての支援会議や、学校お迎えの際に利用者の方の様子を共有している。
- ・現状は支援会議を行えてないが必要に応じて提案し、関係機関との連携を強化していく必要がある。
- ・児童発達支援センターや卒業後の障害福祉サービスとの連携は行えていないため、どう連携するかも含めて検討する必要がある。

○保護者への説明責任等

- ・サービス提供記録や送迎時の会話でお子様の情報共有は行っている。
- ・コロナが5類感染症に移行してから1度保護者会の開催することが出来た。
- ・定期的な情報の発信については、ニュースレターなどで行っているがブログについては、更新が止まってしまっているため、定期的に更新できるよう工夫が必要。

○非常時等の対応

- ・月に一回、毎月曜日を変えて災害を想定した避難訓練を行っており、すべての曜日の利用者が避難訓練に年に1度以上参加出来る機会を設けている。
- ・年度替わりには、食物アレルギーに関して変更がないか保護者様に確認してアレルギーの対策を行っている。
- ・感染症対策や虐待防止、身体拘束防止のための研修を定期的に行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・子どもの活動スペースは「十分とは感じないが現状仕方ないと思う」「クールダウンできる部屋があったり、机とイスがあるスペースがある等、適切だと思います」とのご意見を頂いた。

○適切な支援の提供

- ・地域の子どものとの交流の機会については「いいえ」を選ばれている方が多いが、「特に希望していません」という意見もあった。
- ・専門性のある支援については全ての方から「はい」とのご回答を頂き、「子どもに合わせて支援をしてくれています」「子どもの特性に配慮して頂き、適切な支援が行われていると思います」などのご意見を頂いた。

○保護者への説明等

- ・子どもの状況についての共通理解や子育ての助言については全ての方から「はい」とのご回答を頂き、「問題があれば一緒に考えて頂けています」とのご意見があった。
- ・保護者会や家族支援プログラムなどの開催については「いいえ」「どちらともいえない」を選ばれている方が6割おり、「きょうだい向けイベントがあるかわからない」「保護者会は不定期に開催されています」とのご意見を頂いた為、今後は保護者だけでなく家族が参加できるイベントなども検討する必要がある。

○非常時等の対応

- ・訓練や緊急時などのマニュアルについては「訓練は行われています。マニュアルの詳細な説明を行う機会を作るのは難しいと思います」とのご意見を頂いた。かならずお伝えしなければいけないところはしっかりと伝わるように今後も工夫をしていく。

○満足度

- ・事業所の支援の満足度については9割以上の方から「はい」とのご回答を頂き、「こどもの情緒が不安定な時も、たくさんの御配慮をいただき、支援が行われています」とのご意見を頂いた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・新型コロナの5類移行に伴い対面での保護者会開催が可能となったため、年に1度は保護者会を開催する。
- ・ニュースレターに、前月の活動の写真の掲載やブログの更新を行い情報発信を行う。
- ・近隣の公共施設を活用した課外活動を祝日・長期休みなどに企画実行する。
また、近辺エリアの教室と連携した活動を実施し、事業所以外の生徒と関わる機会を増やす。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会を開催することができた。参加可能な保護者の方が少数だったため、定期的で開催し、より多くの方に参加して頂けるようにする。
- ・毎月、ニュースレターに活動の写真を掲載することができたが、ブログの更新は数回のみだったので、ブログも定期的に更新していく。
- ・バスを利用した公園への外出やお店での買い物練習、地区センターを利用しカラオケ大会などの課外活動を行えた。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・保護者と子どもについての情報共有を適宜行い、子どもひとりひとりに合った適切な支援や専門性を持った支援を行うことができている。
- ・送迎時や連絡帳、個別支援計画の面談などで保護者に丁寧に説明することにより、相談しやすい環境づくりを行い、都度オンラインや教室に来ていただくなどご家庭への支援を行うことができている。

○改善点

- ・保護者会など保護者同士のつながりを作る場の提供が少ないため、定期的に保護者会を開催していく。また、家族支援プログラムにも取り組めていないことから、療育参観を実施し、生徒と保護者が一緒に活動したり、支援の様子を見ることができる機会を増やしていく必要がある。
- ・障害のない子どもや地域の方との関わりが少ないことから、公共の交通機関や施設を利用した活動を増やしていく。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・保護者同士の横のつながり作りや、学校との連携による支援会議など直接支援以外の家族支援についても力を入れていく。
- ・教室での活動などを今まで以上に周知されるように、情報発信に力を入れていく。
- ・近隣の施設など地域とのつながりを作る機会を増やす。
- ・児童発達支援センターや卒業後の障害福祉サービスとの連携は行えていないため、進路先などを保護者からお聞きし、連携方法を検討する。

○1年間で取り組む具体策

- ・利用者の方の状況をスタッフ・保護者間で共有し、必要に応じて支援会議を提案したり、保護者との面談を行い、家族支援を行う。
- ・ブログの更新を月に1回以上は行い、更新した際にはその旨をご案内し、教室での様子を見ていただけるようにする。
- ・より多くの方に参加して頂けるように年に2回の保護者会や療育参観を実施し、保護者同士のつながりを作る機会を増やしたり、教室での生徒の様子を知ることができるようにする。
- ・長期休みや祝日開室を利用して、公共の施設や交通機関を使用した活動を実施していく。
- ・卒業後の進路について聞き取りを行う。